

No.	1	分類	2-(1)-ア	資料名	天と地とが	学年	1年	領域	国語
-----	---	----	---------	-----	-------	----	----	----	----

1 ねらい

- 「不安」や「絶望」の中からも、必ず「新しい希望」は生まれるということを感じながら、学校生活に明るい展望をもつ。

2 趣旨

- この教材は、「天と地とがあるからのように」という繰り返し表現のあとに、「昼と夜とが」「今日と昨日とが」「火と水とが」など、この世に存在するあらゆるものが、対比されながら登場する。
- これらは、「天と地」が存在するのは当たり前であるように、この世界には「時間の流れ」「(ふるさとの)自然」「生命の営み」が絶えずその状況を変化させながら存在していることを表現している。そして、第四連では、われわれ「人間の営み」も喜びがあり、また悲しみや絶望があるなど、様々な状況が訪れるのは当たり前であると表現し、悲しみや絶望から「新しい希望」が生まれてくるとしている。
- 中学校に入学して、新しい環境に順応できず、円滑な学校生活が送れなくなってしまう生徒も多い。この詩には、たとえ不安なことや困難な状況が生まれても、決して負けることなく力強く生きてほしいというメッセージが込められている。

3 配慮事項

- 反復法・対句などの表現技法や言語事項については簡単に触れる程度にし、あまり時間をかけない。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 詩を読む。 2 繰り返されている言葉の意味について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">「天と地」とは何を意味しているか考えましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・この世界を象徴するもの ・世界を形作る基になるもの ・この世に当然のごとく存在するもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の範読でもよい。 ・数名に感想を発表させる。 ・繰り返されている言葉から「人間の営み」をどのように捉えているか考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「天と地」があるから、あたりまえのように 第一連：「時間の流れ」 第二連：「(ふるさとの)自然」 第三連：「生命の営み」 第四連：「人間の営み」があることに気づかせる。
3 詩に込められた作者の思いについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第四連に込められた作者の思いを考えましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・対になっている言葉を確認する。 眠り⇔目覚め 喜び⇔悲しみ 絶望⇔(新しい)希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の営みの中で繰り返されるものであることに気づかせる。 ・人が生きていくうえで、悲しみや絶望を感じるのは避けられないことであるが、そこからは必ず「新しい希望」が生まれることに気づかせ、学校生活に明るい展望をもたせたい。
4 中学校生活に対する意欲を詩にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">第五連を作ってみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を参考にする。 ・できるだけ具体的な内容にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返されている言葉と接続詞だけを書いたワークシートを利用してもよい。 ・教室掲示してお互いの思いが分かるようにする。